

地理学〈H06A〉

配当年次	全学年
授業科目単位数	4
科目試験出題者	高木 正
文責(課題設題者)	高木 正
教科書	指定 辰己 勝・辰己 眞知子『図説 世界の地誌』[改訂版]以降(古今書院)

《授業の目的・到達目標》

ここでの地理学とは、正しくは社会地理学ないし人文地理学とよばれる文科系の科学であり、自然科学としての自然地理学ないし地学(地球科学)のような理科系の学問ではない。したがってその学習は、諸他の社会科学・文科科学と同様に、現実社会や文化を科学的に認識し理解することを目指しており、社会や文化を体系的に認識・理解する視点(世界観)をより確かなものにしていくことにある。

《授業の概要》

テキストとして用いるのは「2. 東アジア」からである。ここでは大韓民国と中華人民共和国が中心となる。「3. 東南アジア」では、各国の特徴という多様性に加え、ASEAN に代表されるような地域的な一体性にも着目する必要がある。「4. 南アジア・西アジア」では、まず南アジアのインドの工業化が重要になる。西アジアでは伝統的な生活を踏まえた上で、石油資源に着目して欲しい。サウジアラビアは石油大国だが、OPEC や OAPEC の動きも重要である。また「アラブの春」といった近年の動向にも注目して欲しい。「5. アフリカ」では、三角貿易、植民地時代のモノカルチャー経済の形成といった経緯を正しく踏まえ、各地域の現状・課題を捉えることが重要である。また南アフリカではアパルトヘイト後の実情をしっかりと押さえる必要がある。「6. ヨーロッパ」では、EUを中心とする統合の動きにみられる成果と問題点を理解して欲しい。個別にはかつて「世界の工場」と呼ばれたイギリスの現状を理解して欲しい。「7. アングロアメリカ」では、アメリカ合衆国の形成過程(社会の多様性)、農業、鉱工業、多国籍企業など多くのことを学習する必要がある。「8. ラテンアメリカ」では、住民構成など地域的な多様性をしっかりと理解して欲しい。「9. オセアニア」では、その地域の多様性と近年重要性を増している日本との関係に注目していかなければならない。このテキストでの学習範囲は以上だが、学習者はテキストの内容に加え、レポート課題に掲げられている参考書や統計書などを利用し、同時に最新のニュースに注目して、新しい世界の動勢を学んでいただきたい。

《学習指導》

いわゆる高校までの地理学習をイメージ(例えば暗記科目)することはなく、まったく新しい大学での一般教養を深めるための科目として、新鮮な気持ちで取り組んで欲しい。

テキストを基本にしながらも、資料研究を緻密に行って欲しい。近年は安易なインターネットからの引用・貼り付けが目立つようになっている。このようなレポートの作り方は一切認めないので注意すること。

《成績評価》

試験(科目試験またはスクーリング試験)により最終評価する。

地理学〈H06A〉

◎課題文の記入：必要（課題記入欄に課題文を書き写すこと）

◎字数制限：1 課題あたり 2,000 字程度（作成基準のとおり）

注意 インターネットからの引用・貼り付けが最近目立つが、安易なサイトからの引用（特に Wikipedia）はレポートの文章とは認めない。また引用する場合（テキストも含む）は必ず引用符をつけ、出所を明示すること。

地図は自作のものが望ましいが、既存の地図をデータ上に挿入しても構わない。ただしその際は、必ず出所を明示すること。コピーした地図を解答用紙に貼り付けることは認めない。

第1 課題

ラテンアメリカの①ジャマイカ ②ペルー ③アルゼンチン ④ブラジルの住民構成を調べ、それぞれの国がどういった経緯でそのような構成になったのか、その背景を説明せよ。住民構成のデータの出所を明らかにすること。（テキスト 8－3 参照）

第2 課題

朝鮮・韓半島（朝鮮半島）について、①南北分断国家が生まれた経緯を説明し、②現時点で両国にはどのような差異が見られるか。各自が考えた指標（政治や経済面、それ以外でも構わない）で比較して説明せよ。（テキスト 2－3 参照）

第3 課題

①インドのカースト制について説明せよ。②近年、カースト制による制約が弱まってきているといわれる。それには 1990 年代以降のインド経済の変化によるところが大きい。どういった変化か。またその変化がカースト制にどんな影響を与えているか。できるだけ具体的に説明せよ。（テキスト 4－1～3 参照）

第4 課題

イギリスの EU 離脱 Brexit について以下の観点からまとめよ。①離脱を主張する人々はどういう不満をもっているのか。② 2016 年 6 月の国民投票から 2020 年 1 月までの経緯。③ EU 離脱によって今後イギリスはどのようなと思うか。各自の意見を述べよ。（時事問題としてまとめること）

〈推薦図書〉

共同通信社（編）	『世界年鑑』（各年度版）	共同通信社
外務省監	『世界各国便覧叢書』（各国別）	日本国際問題研究所
五野井 郁夫・棚島 次郎 他（編）	『現代用語の基礎知識』（2021 年版）	自由国民社
矢野恒太記念会（編）	『日本国勢図会』（各年度版）	国勢社
矢野恒太記念会（編）	『世界国勢図会』（各年度版）	国勢社
二宮書店（編）	『データブックオブ・ザ・ワールド』（各年度版）	二宮書店
帝国書院編集部	『新詳資料地理の研究』（各年度版）	帝国書院